

広報資料

【問い合わせ先】

呉海上保安部交通課長 伊藤

0823-22-0999



令和4年9月12日

令和4年8月中の海難発生状況（速報値）

～台風襲来に備え、係留索や排水口の確認を～

呉海上保安部管内における令和4年8月中の海難発生状況は、船舶海難5件6隻、人身海難0件0人となっています（死者なし）。

（広島県内：船舶海難20件23隻、人身海難13件14人（死者5人））

➤海難の内訳【詳細は別紙参照】

船舶海難 5件 6隻 /前年同月 3件 3隻
内訳 プレジャーボート3隻、漁船2隻、曳船1隻
（民間救助機関による救助を除く）

人身海難 0件 0人（死者なし） /前年同月 2件 2人（死者1人）

➤海難の特徴

遊漁に伴うプレジャーボートの漂流や移動中に、機関故障や漁船との衝突事故が発生している。

➤海難防止のポイント

プレジャーボートの機関故障や衝突事故、台風襲来に伴う係留小型船舶の漂流や沈没事故が発生する恐れがあることから、次の点について呼び掛けます。

・整備事業者による点検整備の実施！

通常の点検で確認できない箇所を整備事業者による入念な点検を実施しましょう！

・常時、見張りの徹底

航行中はもちろん、漂泊状態での遊漁中にあっても、周囲の見張りを徹底し、衝突の恐れがある場合は、余裕をもって避航しましょう！

・係留索の点検・強化！

台風襲来時は、係留索に通常より強い力が掛かるため、事前に係留索の保護（擦れ当ての設置）や係留索の本数を増やすなど係留の強化に努めましょう。

・排水口（スカッパ）の確認！

雨などが船外に排出されるように、排水口を確認し清掃しましょう！

・防舷材の適切な使用！

栈橋や隣りの船との接触防止のために適切な位置に設置しましょう！

※本広報における数値は速報値であり、今後の調査結果により変更する場合があります。

海 難 事 例

■ 船舶海難

【事例1】（衝突）

発生日 令和4年8月8日（月）午前中
発生場所 広島県呉市倉橋町鹿島大橋東方海域
事故船舶 プレジャーボート（2名乗り）、漁船（1名乗り）
事故概要 プレジャーボートは漂泊中、漁船は出港地向け帰港中、上記場所で衝突したもの。（詳細調査中）

【事例2】（乗揚げ）

発生日 令和4年8月25日（木）日中
発生場所 広島県竹原市忠海町大久野島南東端付近海域
事故船舶 曳船（5名乗り）
事故概要 台船を曳航して尾道市から大分県向け航行中、上記場所で乗り揚げたもの。（詳細調査中）

【事例3】（機関故障）

発生日 令和4年8月2日（火）朝
発生場所 広島県竹原市忠海町大久野島東方の海域
事故船舶 プレジャーボート（ヨット・3名乗り）
事故概要 三原市向け航行していたところ、潤滑油油圧低下の警報が鳴り、運航不能となったもの。（潤滑油の漏洩）

【事例4】（機関故障）

発生日 令和4年8月5日（金）日中
発生場所 広島県呉市川尻町小仁方南方の安芸灘大橋付近海域
事故船舶 プレジャーボート（1名乗り）
事故概要 上記場所で釣りをしていたところ、冷却水温が上昇し、機関の回転数が上がらなくなり、運航不能となったもの。（冷却水温上昇によるオーバーヒート）

【事例5】（機関故障）

発生日 令和4年8月27日（土）朝
発生場所 広島県呉市音戸町波多見東方の海域
事故船舶 プレジャーボート（1名乗り）
事故概要 機関を起動し、漂流しながら釣りをしていたところ、機関の回転数が減少・停止し、運航不能となったもの。（燃料システムの不具合）

荒天に備えて!

～台風等の襲来による係留船舶の事故多発～

事例 ▶ 台風により沈没!

係留していた小型船舶が、適切な台風対策をしていなかったため、強風により、係留索が切断し、岸壁と衝突したことにより浸水・沈没した。

Point

小型船舶の台風対策

○係留索の点検・強化

古く、擦り切れているロープを使用していないか点検し、必要に応じて取り換えましょう。

係留索を増やすなど係留を強化しましょう。

係留索が岸壁の角などに触れるおそれがある場合は、係留索に毛布やビニールホースを巻き付けるなど、「擦れあて」をしておきましょう。

○防舷物の適切な設置

栈橋や岸壁との接触防止のために防舷物を適切な位置に設置(増強)しておきましょう。

○排水口(ドレン抜き)の確認

船内に雨が入らないように開口部を閉め、雨や海水が船外に排出されるように、排水口を清掃しておきましょう。

○潮汐などの変化を考慮

台風が接近し、気圧が低くなると、海面が上昇します。係留索が短いと、船体が傾斜して、転覆・沈没することもあります。潮汐の影響も考慮して係留しましょう。

○陸上保管の検討

状況によっては一時的に陸上での保管も検討しましょう。

最新の台風情報を
入手して、
余裕をもって対策を
しましょう。

